

講義名	マーケティング戦略特論			授業形態	
担当教員	秦 洋二		開講期・曜日・時限	前期 月曜日 2時限	
	単位数	2	履修開始年次	1年生	ナンバリング・コード

主題と概要
 本講義はマーケティングの重要概念を学び、マーケティング戦略を立案する力を養うことを目的としています。マーケティング戦略は、製品レベル、事業レベル、企業レベルといった様々なレベルで考える必要があります。その上で、マーケティング・ミックスやSTPといったマーケティングの諸概念が、マーケティング戦略とどのように結びつくのか、またそれらの現実への適用についても多角的に考えます。

到達目標
 ・マーケティング戦略に関する知識を習得し、それらを実際の市場に適用する方法について自分の言葉で説明できる。
 ・マーケティング戦略に関する実践的学びを通じて、自らマーケティング戦略を立案し、実行していく力を獲得する。

提出課題
 毎回小レポートを提出して頂きます。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法
 授業中に解説します。

評価の基準
 レポート 100%

履修にあたっての注意・助言他
 関連文献に広く目を通すようにしてください。

教科書	.デジタル時代のブランド戦略.	田中洋編	有斐閣	2860	978464116622
-----	-----------------	------	-----	------	--------------

参考図書	.なし.				
------	------	--	--	--	--

その他

- 授業計画**
- イントロダクション
事前学習：テキストの精読及び小レポート作成（2時間）
事後学習：関連する文献の渉猟と精読（2時間）
 - プレゼンテーションとディスカッション
事前学習：テキストの精読及び小レポート作成（2時間）
事後学習：関連する文献の渉猟と精読（2時間）
 - プレゼンテーションとディスカッション
事前学習：テキストの精読及び小レポート作成（2時間）
事後学習：関連する文献の渉猟と精読（2時間）
 - プレゼンテーションとディスカッション
事前学習：テキストの精読及び小レポート作成（2時間）
事後学習：関連する文献の渉猟と精読（2時間）
 - プレゼンテーションとディスカッション
事前学習：テキストの精読及び小レポート作成（2時間）
事後学習：関連する文献の渉猟と精読（2時間）
 - プレゼンテーションとディスカッション
事前学習：テキストの精読及び小レポート作成（2時間）
事後学習：関連する文献の渉猟と精読（2時間）
 - プレゼンテーションとディスカッション
事前学習：テキストの精読及び小レポート作成（2時間）
事後学習：関連する文献の渉猟と精読（2時間）
 - プレゼンテーションとディスカッション
事前学習：テキストの精読及び小レポート作成（2時間）
事後学習：関連する文献の渉猟と精読（2時間）
 - プレゼンテーションとディスカッション
事前学習：テキストの精読及び小レポート作成（2時間）
事後学習：関連する文献の渉猟と精読（2時間）
 - プレゼンテーションとディスカッション
事前学習：テキストの精読及び小レポート作成（2時間）
事後学習：関連する文献の渉猟と精読（2時間）
 - プレゼンテーションとディスカッション
事前学習：テキストの精読及び小レポート作成（2時間）
事後学習：関連する文献の渉猟と精読（2時間）
 - プレゼンテーションとディスカッション
事前学習：テキストの精読及び小レポート作成（2時間）
事後学習：関連する文献の渉猟と精読（2時間）
 - プレゼンテーションとディスカッション
事前学習：テキストの精読及び小レポート作成（2時間）
事後学習：関連する文献の渉猟と精読（2時間）
 - プレゼンテーションとディスカッション
事前学習：テキストの精読及び小レポート作成（2時間）
事後学習：関連する文献の渉猟と精読（2時間）
 - プレゼンテーションとディスカッション
事前学習：テキストの精読及び小レポート作成（2時間）
事後学習：関連する文献の渉猟と精読（2時間）

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
 本講義は、ディプロマ・ポリシー「理論的・実証的な課題を研究するために必要な科学的的方法論を身につけていること」及び「研究者として、流通科学諸分野における豊かな学識と研究能力を身につけていること、または高度専門職業人として、より実践的・課題解決的な能力を身につけていること」に関連しています。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考